令和７年度

郡上山づくり構想に基づく施策の実施状況報告書



令和８年７月

郡上市役所産業観光部林務課

【 目次 】

はじめに ····· Ｐ１

Ⅰ．令和７年度の総括 ····· Ｐ４

Ⅱ．基本的施策ごとの実施状況 ····· Ｐ６

１．災害に強い山づくり
２．多様性のある山づくり
３．快適な森林空間づくり
４．木材資源の循環
５．森林資源の利用促進
６．山を支える人づくり
７．地域を支える人づくり
８．林業を支える人づくり

■ 資料　郡上市の森林・林業 ····· Ｐ２９

はじめに

郡上市では、平成 22 年 3 月に郡上市の森林・林業の長期ビジョンである『郡上山づくり構想』を策定しました。

構想では、「山美しく、水清く、幸巡るまち」郡上を創り伝えることを基本理念とし、森林整備、木材利用、人材育成の 3 つの観点から施策の方向性と推進内容を示しています。

令和 7 年度も構想で示す基本方向に従って市民、関係団体の皆様、県と協力して山づくりを推進しましたので、その内容を施策ごとの実施状況として報告します。

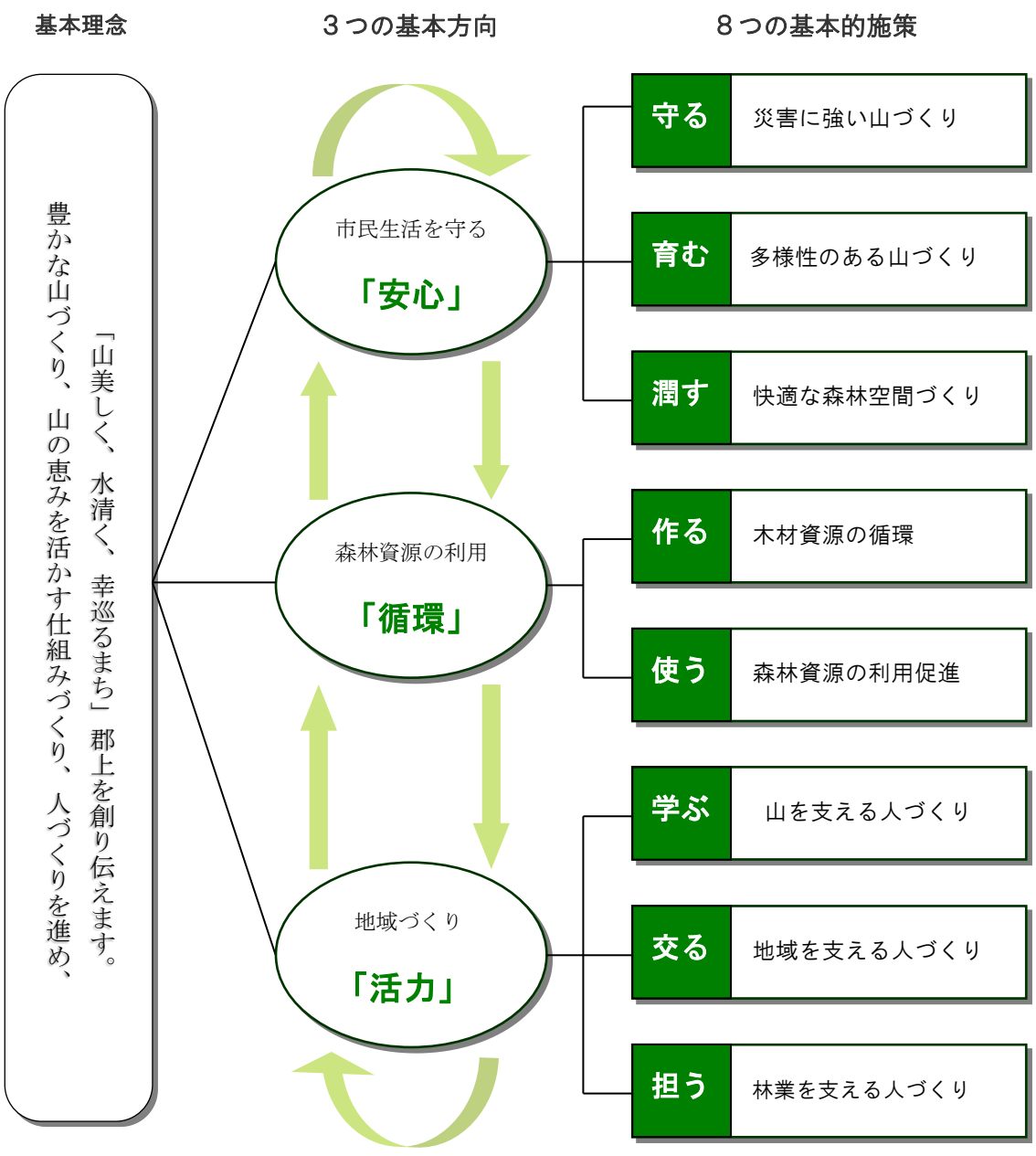






●『郡上山づくり構想』で定める基本方向と基本的施策

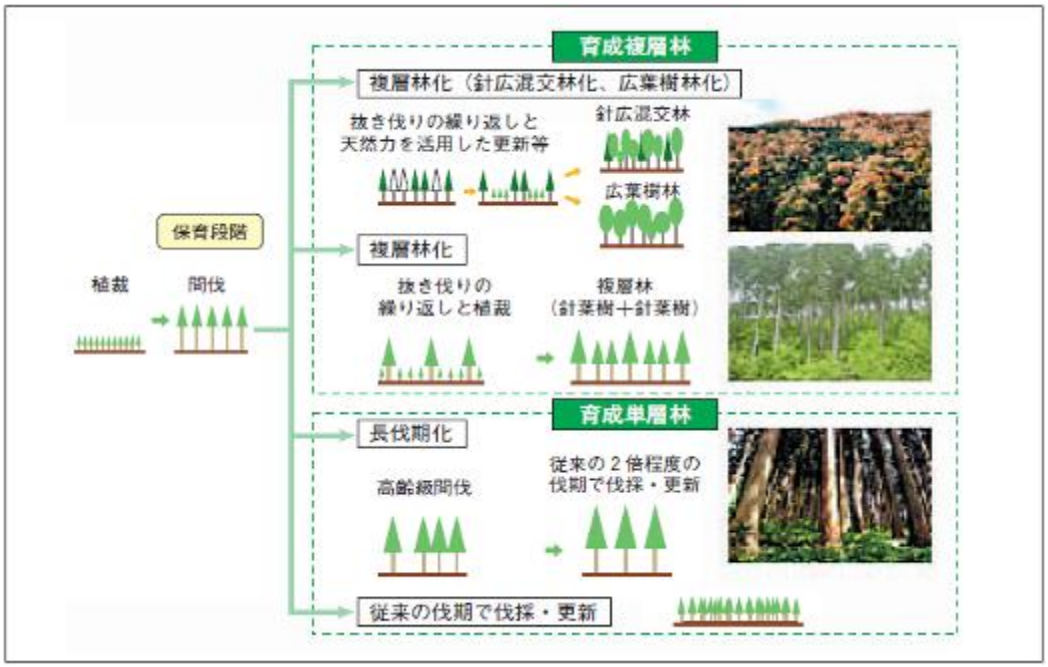
＜施策体系＞



郡上山づくり構想では、豊かで美しい山を実現するために基本理念に基づく３つの基本方向、８つの基本的施策により山づくりを進めることとしています。

●多様な山づくりの推進

森林構成や利用目的に応じた多様な山づくりを推進します。



●森林整備の基本方向

基本「災害に強い山づくり」

（間伐の積極的推進）

人工林

林業経営が可能な人工林

・路網整備等で経営環境向上させ、間伐などの適切な保育を適期に実施し、森林の健全性を確保しながら、持続的・安定的な木材生産を図ります。
・公益的機能を持続的に発揮しつつ、生産性の高い木材生産ができる長伐期施業の導入の支援を行います。

林業経営に適さない場合

森林の健全性の確保に努め、場合によっては天然林（針広混交林や広葉樹林）化を促します。

天然林

・広葉樹を主体とした天然林は、自然の推移にゆだねる方向で健全性を確保することを基本とします。
・ただし、公益的機能発揮のため、維持・管理が必要な広葉樹林については必要に応じて不要木の除去や保育などを実施し適切な保全管理を推進します。

木材生産を重視する山

自然環境の維持を重視する山

「伐って、植えて、育てる」森林の循環形成

Ⅰ．令和７年度の総括

中東情勢の緊迫化は、原油価格の高止まりや石油関連製品の供給不安を引き起こし、企業の収益や家計の実質所得の圧迫が懸念されます。加えて、人口が減少傾向にある中、新設住宅着工戸数の減少、労働力の不足、人件費の高騰など、林業・木材産業を取り巻く環境は年々厳しさを増しています。

一方で、持続可能な社会の実現に向け、気候変動や生物多様性の損失など地球規模の課題への対応が急務となる中、森林をはじめとする「自然資本」の重要性に対する認識は広がっています。森林は、土砂災害の防止や水源かん養などの機能を有するほか、気候変動対策や生物多様性保全などに重要な役割を果たしています。また、木材を建築物等に利用することは、二酸化炭素の排出削減に寄与するものです。

郡上市は、市域の約 9 割が森林で、豊富な森林資源に恵まれるとともに、長良川をはじめとする清流の源となっています。森林資源の循環利用をとおして公益的機能の維持・増進を図るとともに、林業・木材産業のさらなる活性化を図ってまいります。

令和 7 年度は、効率的に施業地を集約化し、早期の森林整備、木材生産量の拡大につなげるため、郡上森林マネジメント協議会等と連携し、新たに国のモデル事業となる「森林の集積・集約化実証事業」を活用し、施業区域の外縁部のみを確定させる新たな手法に取り組みました。所有者ごとの境界確定を省くことで効率的に施業地を集約することができますが、収益の配分方法など様々な課題があることがわかりました。

森林経営管理法に基づき、郡上市は所有者から経営管理を受託し、手入れの行き届かない森林の整備を進めています。これまでは、人家裏など災害リスクの高い林業経営に適さない森林（環境保全林）を中心に整備してきましたが、これからは森林資源の循環利用を進めるため、林業経営に適した森林（木材生産林）の整備も進めます。

労働力が不足する中で、安定的に森林技術者を確保していくためには、森林・林業・木材産業に対する市民の理解を深めていただく必要があります。新生児への木製玩具の配布や、小中学校における森林環境教育など成長段階に応じた取組みを展開するとともに、郡上市における「ぎふ木育」の拠点となる「ぎふ木遊館サテライト 森のくじら」を整備し、幅広い世代を対象に「ぎふ木育」を展開します。

郡上市では、急速に人口減少が進んでいます。市産材を活用した住宅の建設支援や、市外から郡上市へ移住し林業へ就業した方へ移住支援金を給付するなど、若者世代の定住促進と林業・木材産業の活性化を図ってまいります。

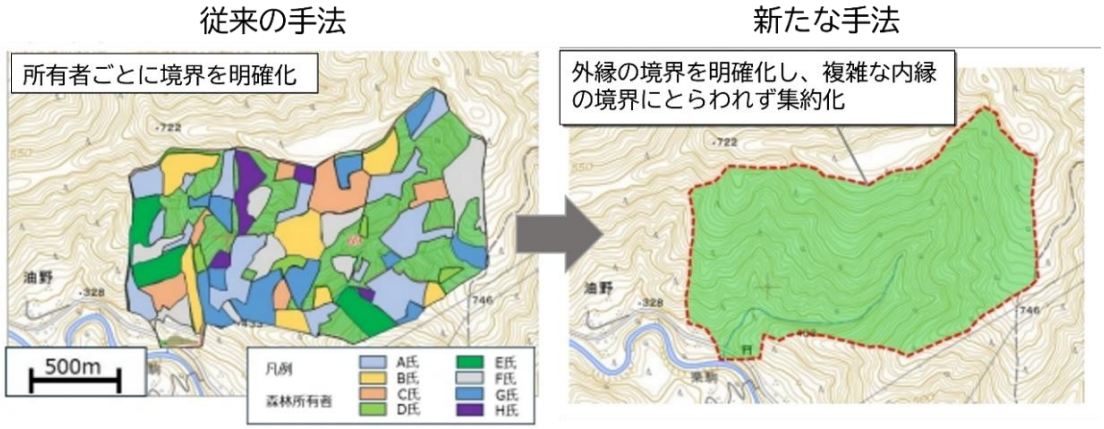
新たな集約化モデル事業の実施

森林整備を効率的に進めるためには、施業地の集約化が必要です。しかし、所有者や境

界が不明な森林の顕在化などから、集約化に時間と費用がかかり、森林整備につながらない地域も存在します。

このため、効率的に施業地を集約化し、早期の森林整備につなげるため、所有者ごとではなく施業区域の外縁部のみを確定させる新たな手法について、令和 7 年度から国のモデル事業を活用しながら八幡町河鹿地内で行っています。

令和 7 年度は地域協議会を設置し、所有者の森林整備に関する意向などを調査したところです。令和 8 年度は具体的な整備計画や収益の配分方法などについて協議していきます。



ツキノワグマへの対応

近年、全国的にツキノワグマが人の日常生活圏へ出没し、人身被害が多く発生しています。幸い、郡上市では人身被害は発生していませんが、令和 7 年度の目撃件数は、令和 6 年度の 2.9 倍の 55 件となりました。

こうした中、令和 7 年 9 月から「人命の危機」、「銃以外の方法では対応困難」など 4 つの条件全てを満たした場合、市長の判断で緊急銃猟が実施できるようになりました。

出没した場合、郡上市では原則「追い払い」で対応することとしますが、万が一の緊急銃猟の実施に備え、対応マニュアルを整備するとともに、必要な資機材の確保、さらには郡上市猟友会等と連携した訓練等を実施していきます。

「ぎふ木遊館サテライト ぐじょう木遊館　森のくじら」の整備



中濃地域の「ぎふ木育」の拠点として、旧大和第一北小学校体育館（大和町万場地内）を活用して「ぐじょう木遊館 森のくじら」の整備（令和 8 年 9 月開館予定）を進めています。体育館という広い空間に大型木製遊具をダイナミックに配置し、立体的な空間を創出します。完成後は、幅広い世代を対象に、木製遊具や木のおもちゃでの遊び、ワークショップを通じて「ぎふ木育」を展開してまいります。

Ⅱ．基本的施策ごとの実施状況

８つの基本的施策ごとの実施状況は次のとおりです。

守る　１．災害に強い山づくり

① 間伐の積極的推進

■ 間伐の推進

令和 7 年度の郡上市全体の間伐面積は 659ha で、そのうち 513ha の間伐に対し、国、県の補助に上乗せをして助成を行いました。

利用間伐については 470ha、利用間伐に適さない森林については、清流の国ぎふ森林・環境基金事業等を活用して 146ha の伐捨間伐を実施しました。

間伐実績

年度	R5	R6	R7
間伐	957ha	720ha	659ha
うち利用間伐	592ha	456ha	470ha
うち補助対象面積	640ha	500ha	513ha

出典：郡上農林事務所

郡上市　造林推進事業、清流の国ぎふ森林・環境基金事業　実績

※令和 7 年度数値については見込（令和 8 年 9 月頃に確定予定）

■ 森林整備事業の実施

植栽、保育などに対して国、県の補助に上乗せして助成を行いました。

森林整備実績

施業	R5	R6	R7
皆伐	0ha	0ha	0ha
植栽	40.21ha	44.49ha	40.60ha
下刈り	139.58ha	151.14ha	142.02ha
雪起し	72.96ha	44.62ha	91.99ha
鳥獣害防止施設	311.35ha	332.90ha	302.57ha

出典：郡上市　造林推進事業、主伐再造林事業　実績

■ 郡上市の素材生産量

令和 7 年度は、137,370 ㎥の木材を生産しました。

素材生産量　実績

	R5	R6	R7
素材生産量	125,739 ㎥	123,411 ㎥	137,370 ㎥

出典：郡上農林事務所

※令和 7 年度数値については見込（令和 8 年 9 月頃に確定予定）

② 違法伐採の禁止と伐採跡地の確実な更新

■ 伐採届に対する指導

地域森林計画の対象となっている森林の伐採について、令和 7 年度は 74 件の伐採届（森林法第 10 条の 8 第 1 項）を受理し、届出者に対して郡上市森林整備計画(郡上市皆伐施業ガイドライン）に基づき、伐採方法、造林方法等について指導を行いました。

なお、1ha 以上の皆伐を行う場合は、ガイドラインに基づき県､市で事前に現場において､伐採方法､造林方法等について指導を行っています。令和 7 年度は 15 件（うち 15 条は 8 件）の届出に対して指導をしました。



伐採前の現場指導

■ 皆伐跡地の調査

皆伐跡地の植生回復状況を把握するため、10 月に県、市、森林研究所で、市内 3 地域、5 箇所において調査を行い、植生が一定程度回復していることを確認しました。

③ 保安林と治山事業

■ 保安林

保安林内間伐届出書を 47 件受理し、届出者に伐採方法等について指導を行いました。

■ 治山事業の実施

県では、山地災害により被災した箇所の早期復旧のため、災害発生から概ね 3 年以内に、復旧対策の完了を目標としています。市内においては、復旧治山事業など 21 箇所が施工されました。



緊急予防治山事業

治山事業実施状況

事業名	R5	R6	R7
復旧治山事業	3 箇所	10 箇所	9 箇所
緊急予防治山事業	4 箇所	3 箇所	3 箇所
予防治山事業	5 箇所	3 箇所	
奥地保安林保全緊急対策事業			
県単治山事業	7 箇所	5 箇所	7 箇所
集落環境保全整備事業	3 箇所	2 箇所	2 箇所
保安林整備事業	1 箇所		
災害関連緊急治山事業			
治山施設災害復旧事業			
流木防止総合対策事業	1 箇所		
	24 箇所	23 箇所	21 箇所

※集落環境保全整備事業は、県補助金で市が実施する事業

出典：郡上農林事務所

④森林経営管理制度による森林整備の推進

■ 森林経営管理事業

森林経営管理制度に基づき、森林経営計画が作成されておらず、手入れが行き届いていない森林について、森林所有者の経営管理に関する意向調査を８箇所で実施しました。これまでは災害リスクの高い人家裏などの森林が中心でしたが、令和７年度からは木材生産の拡大に向け、木材生産に適した森林についても意向調査を行いました。さらに、境界の明確化にあたっては、時間とコストの削減を図るため、境界の外縁のみを確定させる手法を取り入れていきます。

意向調査

	R5	R6	R7
箇所数	10 箇所	9 箇所	8 箇所
対象面積	455.74ha	440.48ha	362.35ha
R7 実施箇所 八幡町安久田、白鳥町那留、大和町剣、大和町名皿部、和良町宮地 和良町三庫、明宝畑佐、高鷲町西洞			

出典：郡上市　経営管理事業意向調査　実績





地区全体説明会（八幡町安久田）

森林境界明確化

	R5	R6	R7
箇所数	11 箇所	11 箇所	9 箇所
対象面積	370.56ha	478.57ha	444.31ha
R7 実施箇所 八幡町五町イワバ山、八幡町向山、八幡町野々倉東洞、大和町大間見江島 大和町大間見打越、白鳥町前谷、明宝気良上野口、明宝二間手前山 和良町土京			

出典：郡上市　経営管理事業境界明確化　実績




境界明確化

施業プラン

	R5	R6	R7
箇所数	7 箇所	10 箇所	5 箇所
対象面積	215.75ha	207.66ha	143.60ha
R7 実施箇所 八幡町相生雛成、八幡町島谷、大和町中神路、白鳥町中津屋 高鷲町大鷲向鷲見			

出典：郡上市　経営管理事業施業プラン作成　実績

森林整備

	R5	R6	R7
箇所数	1 箇所	2 箇所	5 箇所
対象面積	36.60ha	19.45ha	79.59ha
R7 実施箇所 八幡町穀見、八幡町小那比、和良町沢 八幡町腰細（R6 繰越）、大和町島（R6 繰越）			

出典：郡上市　経営管理事業森林整備　実績

大和町島伐採現場




森林整備前　　森林整備後

⑤新たな集約の方法による森林整備の促進

■ 森林の集積・集約化実証事業

郡上森林マネジメント協議会と連携して、八幡町河鹿戒仏地区において新たな集約の方法による森林整備に取り組んでいます。施業区域の外縁部のみ確定し、区域内（所有者ごと）の境界明確化を省くことで、効率的に施業地を集約し、森林整備の促進につなげていきます。





事業説明会

育む　２．多様性のある山づくり

① 森林整備の考え方

■ 『森林配置計画』について

県では１００年先に向けて望ましい森林の姿へ配置を見直すために、「木材生産林」「環境保全林」、「観光景観林」、「生活保全林」の４つの将来目標区分を設定することとしており、郡上市では以下のように区分しています。

将来目標区分　（令和７年度末時点）

木材生産林	35,948ha
環境保全林	54,540ha
観光景観林	21,252ha
生活保全林	5,491ha
計	90,488ha

※合計については木材生産林・環境保全林の合計数値（重複があるため）

出典：郡上市　森林計画における将来目標区分の指定

■ 森林経営計画の作成及び境界明確化の推進

18 件 3,993ha の森林経営計画を認定しました。

また、森林整備地域活動支援交付金事業を活用して、森林経営計画の作成や森林境界の明確化を支援しました。

森林経営計画認定実績

	R5	R6	R7
認定件数	8 件	13 件	18 件
面積	7,606ha	3,747ha	3,993ha

出典：郡上市　森林経営計画作成　実績

施業地の集約化を進めるため、3 件 160ha（美並町上田、和良町三庫、明宝小川）の境界明確化を支援しました。

境界明確化実績

	R5	R6	R7
境界明確化実施面積	263ha	185ha	160ha

出典：郡上市　森林整備地域活動支援交付金事業　実績

② 森林情報の整備

■ 所有者届出制度の運用

森林法に基づく森林の土地の所有者届を、218 件受理しました。また、死亡手続きの際に、関係課と協力して所有者届出制度の周知を図りました。

所有者届出件数

	R5	R6	R7
届出件数	248 件	260 件	218 件

出典：郡上市　森林の土地の所有者届

■ 林地台帳の整備

森林所有者や森林所有者から経営の委託を受けた者等に対して所有者情報や図面などの情報の提供をしました。

林地台帳交付申請件数

	R5	R6	R7
申請件数	3 件	7 件	5 件

出典：郡上市　林地台帳交付　実績

■ スマート林業の推進

郡上市では効率的に森林を経営・管理をするため、GIS を活用した森林資源情報の整備を行っています。

令和 7 年度は令和 6 年度に行った単木解析の結果（森林クラウドシステムの第 2 樹種、第 3 樹種）を森林マネジメント支援システムに追加しました。

森林マネジメント支援システム実績

区分	R5	R6	R7
データ整備	白鳥町除く私有林単木解析データ取り込み	・白鳥町（私有林）＋市有林単木解析データ取り込み ・市内全域単木情報解析（第 2、第 3 樹種データ）	市内全域追加単木解析データ取り込み（第 2、第 3 樹種データ）

出典：郡上市　スマート林業推進事業　実績

■ ＩＣＴ林業技術等の導入

令和 7 年度は ICT 林業技術機械等の導入に対する要望はありませんでした。

内容	R5	R6	R7
件数	3 件	2 件	0 件
機器名	WEB 配車システム GNSS 測量機器 2 機	ドローン 1 機 GNSS 測量機器 1 台	－

出典：郡上市　スマート林業推進事業　実績

潤す　３．快適な森林空間づくり

① 森林の整備

■ 居住地周辺の整備

【自伐林家型森林整備事業】

面積が小規模で国や県の補助事業の対象とならない森林整備に（5 件、2.17ha）を支援しました。

自伐林家型森林整備事業　実績

内容	R5	R6	R7
件数	17 件	18 件	5 件
植栽･間伐･下刈り等	17.88ha	12.84ha	2.17ha

出典：郡上市　自伐林家型森林整備事業　実績

【生活保全林整備事業】

人家裏など、倒木被害の恐れがある立木の伐採等を 9 地区で実施しました。

生活保全林整備事業　地域別実績

実施地区	R5	R6	R7
八幡	6	7	4
大和	―	1	1
白鳥	3	5	3
高鷲	―	―	―
美並	1	2	1
明宝	1	―	―
和良	―	―	―
計	11	15	9

出典：郡上市　生活保全林整備事業　実績



整備前



整備後

【風倒木等林内処理事業】

令和７年度は事業要望はありませんでした。

風倒木等林内処理事業　地域別実績

実施地区	R5	R6	R7
八幡	1	1	―
大和	2	2	―
白鳥	―	―	―
高鷲	―	―	―
美並	―	―	―
明宝	―	―	―
和良	―	―	―
計	3	3	―

出典：郡上市　風倒木等林内整備事業　実績

■ 緑化への支援

緑の募金を活用し、サクラの苗木 21 本の購入を支援しました。



サクラの苗木の植樹

② 鳥獣害対策

■ 鳥獣害対策の推進

【捕獲対策】

鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援事業（有害鳥獣捕獲）、ニホンジカ捕獲事業（個体数調整）、シカ特別対策事業を活用して、ニホンジカ等の捕獲に努めました。令和７年度は前年度から 1,389 頭（羽）減の 3,372 頭（羽）を捕獲しました。

また、捕獲を担う郡上市鳥獣被害対策実施隊の隊員は前年度から７名減り 287 名となりました。隊員を確保するため、第一種銃猟免許取得や猟銃の購入などに係る経費を２名に支援しました。（林業技術者育成・確保事業）

鳥獣年間捕獲数

内容	R5	R6	R7
イノシシ	349 頭	290 頭	268 頭
ニホンジカ	2,587 頭	3,960 頭	2,709 頭
ニホンザル	267 頭	261 頭	240 頭
カラス	52 羽	63 羽	20 羽
ハクビシン	91 頭	81 頭	50 頭
ヌートリア	0 頭	0 頭	2 頭
アライグマ	14 頭	12 頭	6 頭
アナグマ	93 頭	94 頭	77 頭
合計	3,456 頭 （52 羽）	4,761 頭 （63 羽）	3,372 頭 （20 羽）

出典：郡上市　有害鳥獣捕獲事業　実績

カモシカ捕獲数

地　域	R5	R6	R7
大和	1 頭	－	－
高鷲	2 頭	－	－
白鳥	2 頭	2 頭	－
合　計	5 頭	2 頭	－

出典：郡上市　岐阜県第２種特定鳥獣管理計画

【防除対策】

地域による簡易な鳥獣被害防護柵の設置や地域ぐるみの防除活動を支援しています。

令和 7 年度は電気柵 3,510m、大型囲いわな 1 基の設置を支援しました。

区分	R5	R6	R7
防護柵	7 件　2,036m	14 件　5,052m	18 件　3,510m

出典：郡上市　郡上市有害鳥獣対策地域力支援事業　実績

鳥獣被害防止総合対策交付金事業　実績

	R5	R6	R7
大型囲いわな設置	2 地区　2 基	2 地区　2 基	1 地区　1 基

出典：郡上市　罠捕獲を中心とした捕獲対策支援事業　実績

鳥獣被害防止総合対策交付金事業　実績

作る　４．木材資源の循環

① 団地化の推進と機械化

■ 高性能林業機械等の導入

効率的に森林施業を行うため、郡上市内の林業事業体はプロセッサ、スイングヤーダ等 53 台の高性能林業機械を導入しています。令和 7 年度は新たな導入実績はありません。



プロセッサによる森林施業

高性能林業機械の導入状況（累計）（R7 年度末現在）

ﾌﾟﾛｾｯｻ	ﾊｰﾍﾞｽﾀ	ｽｲﾝｸﾞﾔｰﾀﾞ	ﾌｫﾜｰﾀﾞ	その他	計
21 台	6 台	18 台	6 台	1 台	53 台

出典：郡上農林事務所（令和 6 年度版　岐阜県森林・林業統計書より）

② 路網の整備

■ 林内路網の整備

林道を 4 路線 718m開設しました。作業路は 56 路線　17,581m開設しました。

林内路網の整備実績

内容	R5	R6	R7
林道の開設	1,416m	1,098m	718m
作業路の開設	64 路線 25,285m	56 路線 22,304m	56 路線 17,581m
林内路網密度	26.5m/ha	26.7m/ha	26.9m/ha

出典：郡上農林事務所　郡上市建設水道部　林道整備　実績

■　既設作業路の補修

森林整備及び木材生産を促進するため、9 路線 10,138mの作業路補修を支援しました。

既設作業路の補修実績

内容	R5	R6	R7
路線数	12	8	9
延長	11,477m	8,465m	10,138m

出典：郡上市　森林整備推進作業路整備事業　実績

③ 森林の循環システムの構築

■ 低コスト造林の検証

皆伐地における再造林・保育経費の低コスト化の検証を古道市有林（1.46ha）で実施しています。

令和７年度はツリーシェルター撤去に係る歩掛調査を行うため、郡上高校の協力を得て撤去作業を行いました。



ツリーシェルター撤去

使う　５．森林資源の利用促進

① 加工・流通体制の整備、商品の開発

■ 大型製材工場への原木安定供給

長良川木材事業協同組合への郡上市産材の納材量は増加しているものの、納材量・製材量ともに減少傾向にあることから、郡上市産材の生産拡大求められます。

長良川木材事業協同組合稼働状況　（原木納材・製材）　単位：㎥

年度	R5	R6	R7
納材量	70,609	68,458	63,285
うち　市内	28,330	30,562	36,978
うち　市外	42,279	37,896	26,307
製材量	75,663	70,946	67,582

出典：郡上農林事務所

② 木造建築の促進

■ 郡上市産材の利用促進

郡上市産材の利用促進と若者の市内への移住・定住促進を図るため、郡上市産材を一定量以上使用した 37 件の住宅建設等に対し支援しました。



郡上市産材を使用した住宅

新世代住まい応援事業　実績

内容	R5	R6	R7
件数	51 件	51 件	37 件
新規定住につながったもの	29%	29%	11%

出典：郡上市　郡上市産材住宅建設等支援事業　実績
　　新世代住まい応援事業　実績

■ 匠の国・岐阜県伝統建築家の認定

木造軸組構法などの伝統的な木造建築について、特に卓越した技能、知識、経験を有し、後継者の育成に多大な実績のある建築大工技能士を認定し、社会的評価の向上に努めています。

匠の国・岐阜県伝統建築家認定者数

年度	R2	R4	R6
認定者数	1 名	3 名	2 名

出典：郡上市　匠の国・岐阜県伝統建築家報告書

③ 森林資源の利活用促進

■ 地域材を活用した木質バイオマスエネルギーの利用

森林資源を活用した木質バイオマスエネルギー循環システムとして、明宝温泉、明宝デイサービスセンターで 1,832 ㎥の木質燃料を使用しました。

■ 木の駅プロジェクトの推進

林地残材の有効活用と地域内商店等の活性化を目的に3団体が『木の駅プロジェクト』に取り組み、未利用材666.8ｔを搬出しました。



林地残材の搬出（高鷲）

団体別搬出量　　（単位：ｔ）

団　体　名	R5	R6	R7
たかす木の駅会議	204.2	241.7	200.0
口明方木の駅実行委員会	20.2	-	-
めいほう高原株式会社	397.8	316.5	431.8
郡上市社会福祉協議会	50.0	40.0	35.0
計	672.2	598.2	666.8

出典：郡上市　未利用材の搬出促進事業　実績

■ G-クレジット制度の推進

岐阜県独自の森林由来のカーボン・クレジット制度「森林吸収量認証制度（G-クレジット制度）」に郡上市有林（約200ha）が登録され、8年間で約6,000ｔ-CO2のクレジットの創出が見込まれます。市有林の整備を行い、クレジットの収益を活用して市内の森林整備等を進めます。



内ケ谷市有林



GIFU
G-クレジット制度
プロジェクト登録証

プロジェクト番号：G1－2025

○プロジェクトの名称
「郡上グリーンプロジェクト」始動！！
健全で豊かな郡上の森林を未来へ

○プロジェクト実施者
郡上市

○代表者氏名
山川　弘保

○認証対象期間
2025年4月1日～2033年3月31日

上記プロジェクトについて、申請内容を審議した結果、プロジェクト登録要件に適合すると認められるため、G-クレジット制度実施要綱に基づき、G-クレジット制度に登録いたします。

登録日：2025年10月31日
G-クレジット制度管理者　岐阜県

プロジェクト登録証

学ぶ　６．山を支える人づくり

① 学校教育との連携

■ 森林環境教育の推進

市内小中学校６校のみどりの少年団への活動支援を行いました。また、林業グループ、林業事業体及び市職員等が講師となって林業体験や森林教室を実施しました。また、木製ジャングルジム「くむんだー」の製作体験を市内の幼･保育園５園の園児と小学校９校の児童を対象に実施しました。



森林教室

人材育成支援事業・環境教育推進　実績

年度	R5	R6	R7
幼稚園・保育園	5 園	5 園	5 園
小学校	14 校	15 校	14 校
中学校	4 校	5 校	4 校

出典：郡上市　郡上木育推進支援事業　実績

② 市民への普及・啓発

■ 木製玩具の贈り物

生まれてすぐに木に触れ、木に親しんでもらえるよう、市内の新生児 122 名へ国産材の木製玩具を贈りました。



国産材を使用した木製玩具

新生児木製玩具贈呈　実績

年度	R5	R6	R7
贈呈数	152 名	168 名	122 名

出典：郡上市　郡上木育推進支援事業　実績

交る　7．地域を支える人づくり

① 地域座談会の開催

■ 森林づくり推進会議の開催

郡上市の森林づくりの方向性や具体的な施策を検討するため、郡上市森林づくり推進会議を 3 回開催しました。また、3 つの部会（主伐・再造林、木育推進、木材ブランド化）を設置し、皆伐施業ガイドラインの見直しなど個別の課題について調査・検討を行いました。



第 1 回森林づくり推進会議

② 下流域との交流の促進

■ 企業の森・上下流連携

「ブラザーの森　郡上（白鳥町二日町）」において、ブラザー工業株式会社の従業員とその家族など約 300 名が参加して森林づくり活動を行いました。

「シミズめぐりの森 郡上（八幡町那比地内）」において、清水建設株式会社の従業員や郡南中学校の生徒など約 100 名が森林づくり活動を行いました。

「太平の森 郡上（大和町栗巣地内）」において、株式会社太平製作所の従業員など約 70 名が森林づくり活動を行いました。



ブラザーの森　郡上



シミズめぐりの森 郡上



太平の森 郡上

■ 長良川源流の森育成事業

大和町落部において郡上漁協と連携し、日本一の「郡上鮎」を育む長良川の源流部の森林を育成するため、広葉樹の植樹活動（参加者：133 名）を実施しました。

③ 地域資源を生かした交流

■ 東京都港区との交流



みなと森と水サミット

みなと森と水ネットワーク会議参加自治体（郡上市ほか 79 自治体）の首長が東京都港区に集い、みなと森と水サミット 2025 が開催されました。

郡上市は、林業の活性化及び脱炭素化社会の実現に貢献するため、港区と「間伐材を始めとした国産材の活用推進に関する協定」を締結しています。港区内で建てられる建築物等に協定木材の使用を促すことで、二酸化炭素固定量の増加と国内の森林整備の促進による二酸化炭素吸収量の増加を図っています。

担う　８．林業を支える人づくり

① 新規雇用の促進

■ 林業技術者確保事業

新規林業就業者の確保のためインターンシップ受入に対する支援を 1 事業者に行いました。

■ 林業就業移住支援事業

他県から郡上市に移住し、林業に就業した１名に対し給付金を給付しました。

② 雇用環境改善への支援

■ 林業労働安全衛生対策支援事業

素材生産技術協議会などによる労働安全講習会の開催を支援しました。

また、林業労働災害の撲滅に向け、林業事業体７者にヘルメットや安全スパイクなど、安全装備品の購入を支援しました。



労働安全講習会の開催



安全装備品

③ 森林技術者の育成と技術の継承

■ 林業技術者育成事業

林業の担い手育成のため、5 事業者 11 名の伐木等の業務に係る特別教育や車両系木材伐出機械の運転に係る特別教育などの受講を支援しました。また、郡上高校 2 年生 15 名の刈払機取扱講習、3 年生 23 名の小型建機講習の受講を支援しました。





フォレストワーカー研修

■ 資料　郡上市の森林・林業

１．森林の概況

２．間伐実施状況

３．県内他市町村との比較

４．林業・木材産業の動向

５．林業の担い手等の動向

※令和４年度・５年度・６年度の数値については岐阜県森林・林業統計書より

※令和７年度数値については確定前数値のため今後変動します。

出典：郡上農林事務所

１．森林の概況

○ 市総面積の約 9 割が森林 ※表 1

○ 森林の 98%が民有林で、うち 9 割が個人の所有する私有林 ※表 2

○ 民有林人工林の蓄積量は 18,673 千㎥ ※表 3

○ 人工林の主要樹種は南部地域はヒノキ、北部地域はスギの割合が高い

- 美並・和良地域の人工林面積の 8 割弱がヒノキ
- 白鳥・高鷲地域の人工林面積の 8 割強がスギ
- 市全体では、スギ、ヒノキ人工林面積の割合はほぼ同程度

○ 人工林の 58.3%が間伐対象林分（3～12 齢級＝11～60 年生） ※表 4

[表 1] 総土地面積に占める森林の割合　　単位：ha

区分	総土地面積	森林	農地	その他	森林率
郡上市	103,075	92,833	1,434	8,808	90.1%

[表 2] 所有形態別森林面積　　単位：ha

区分	民有林		国有林	合計
	私有林	公有林		
面積 （割合%）	80,505 （86.7）	10,062 （10.9）	2,266 （2.4）	92,833 （100.0）

[表 3] 民有林人工林・天然林別蓄積量　　単位：千㎥

区分	人工林			天然林	合計
	12 齢級まで	13 齢級以上	計		
蓄積量 （割合%）	9,594 （39.0）	9,079 （36.9）	18,673 （75.9）	5,936 （24.2）	24,609 （100.0）

[表 4] 民有林人工林齢級別面積　　単位：ha

区分	1～2	3～7	8～9	10～12	13～	合計
面積 （割合%）	614 （1.2）	2,435 （4.8）	7,054 （14.0）	19,809 （39.4）	20,381 （40.6）	50,293 （100.0）

○ 令和 7 年度は、約 659ha の間伐を実施

○ 郡上市は県全体間伐実施量の約 13.8%を実施

間伐実績　　単位：ha

年度	R5	R6	R7
郡上市	957	720	659
県全体	5,861	5,215	5,044

２．県内他市町村との比較

総森林面積　　ha

1	高山市	200,375
2	郡上市	92,833
3	下呂市	78,385
4	飛騨市	73,965
5	揖斐川町	73,440

民有林人工林面積　　ha

1	郡上市	50,293
2	高山市	45,383
3	下呂市	33,492
4	中津川市	23,137
5	恵那市	20,834

民有林人工林蓄積　千㎥

1	郡上市	18,673
2	高山市	14,202
3	下呂市	13,574
4	中津川市	7,600
5	揖斐川町	7,289

年間除間伐実施面積　ha

1	高山市	777
2	郡上市	720
3	下呂市	588
4	揖斐川町	410
5	恵那市	362

年間造林実施面積　　ha

1	高山市	75
2	郡上市	54
3	下呂市	38
4	揖斐川町	12
5	関市	9

森林作業道等開設実績

1	下呂市	49 路線（22,538m）
2	郡上市	56 路線（22,304m）
3	高山市	53 路線（19,494m）
4	八百津町	24 路線（11,230m）
5	東白川村	22 路線　（8,697m）

林道路線延長

1	郡上市	615,062m（273 路線）
2	高山市	598,776m（275 路線）
3	下呂市	520,340m（209 路線）
4	中津川市	514,872m（202 路線）
5	恵那市	321,774m（136 路線）

森林技術者数

1	高山市	163 人（23 事業体）
2	郡上市	152 人（26 事業体）
3	下呂市	67 人（11 事業体）
4	中津川市	65 人（11 事業体）
5	飛騨市	51 人（7 事業体）

令和 6 年度版　岐阜県森林・林業統計書より

３．林業・木材産業の動向

	R5	R6	R7	備考
主伐面積	77.7ha	69.0ha	86.1ha	林道・作業路の支障木伐採等を含む
間伐面積	957.00ha	720.00ha	659.00ha	
うち利用間伐（利用間伐材積）	592ha 32.5 千㎥	456ha 28.9 千㎥	470ha 33.8 千㎥	
素材生産量	125,739 ㎥	123,411 ㎥	137,370 千㎥	
木材取扱量（2 市場）	76 千㎥	71 千㎥	68 千㎥	
シイタケ生産量（生・乾）	377 t	403 t	532 t	
新設住宅着工戸数（木造）	91 戸	96 戸	88 戸	
林道・作業道開設実績	1.4/25.3km	1.1/22.3km	0.7/17.6km	
路網密度	26.5m/ha	26.7m/ha	26.9m/ha	

※新設住宅着工戸数については「着工新設住宅概報」県建築指導課より

４．林業の担い手等の動向

	R4	R5	R6	備考
林業就業者数	152 人	146 人	152 人	